

製品名: KDM1A (1E5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03855**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 93 kDa; Observed MW: 110 kDa

抗原情報

遺伝子名	KDM1A KDM1A; AOF2; KDM1; KIAA0601; LSD1; Lysine-specific histone demethylase 1A; BRAF35-
別名	HDAC complex protein BHC110; Flavin-containing amine oxidase domain-containing protein 2
遺伝子 ID	23028
SwissProt ID	O60341
免疫原	ヒト KDM1/LSD1 の合成ペプチド

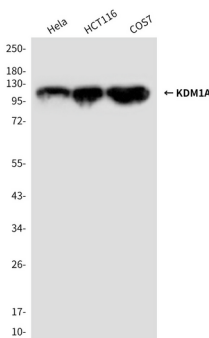
背景

ヒストン H3 の Lys-4 (H3K4me) と Lys-9 (H3K9me) の両方を脱メチル化するヒストン脱メチル化酵素。状況に応じてコアアクチベーターまたはコリプレッサーとして作用する。基質を FAD で酸化し、対応するイミンを生成し、その後加水分解される。エピジェネティック転写活性化の特異的タグである H3K4me の脱メチル化を媒介することでコリプレッサーとして作用する。モノメチル化 H3K4me1 とジメチル化 H3K4me2 の両方の H3K4me を脱メチル化する。神経遺伝子の抑制に関与する可能性がある。

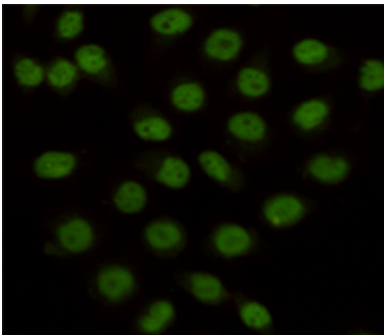
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

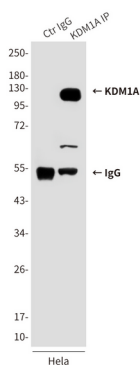
画像データ



KDM1/LSD1 抗体を使用した HeLa、HCT116、COS7 溶解物中の KDM1/LSD1 のウエスタンブロット分析。



KDM1/LSD1 抗体を用いた HeLa 細胞の KDM1A (1E5) の免疫細胞化学分析。



KDM1/LSD1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の KDM1A (1E5) の免疫沈降分析。